

報告者：神田夏央（Natsuo Kanda）

日時：2013年9月10日～9月12日

タイトル：日本天文学会 2013年秋季年会について

SS t 修士 1 年生の神田夏央です。名古屋大学大学院に進学してはや半年、初めて学会に参加させていただいたので、その報告をさせていただきます。

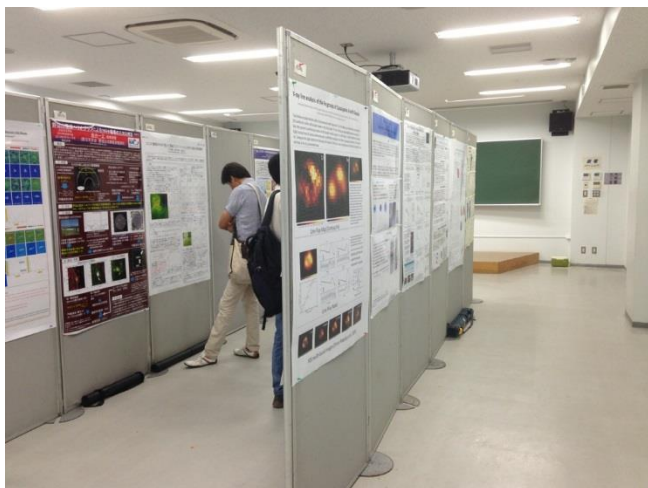


今回は東北大学を会場として開催されました。東北大学は仙台駅の西に位置し、周辺は中心地に近いながらも自然豊かな町並みで、杜の都仙台を感じることができるすばらしい場所でした。



この天文秋季学会では実に 21 もの分野があり、9つの会場で平行して発表を行います。

SS t 研からは草野先生を始めとして、多くの方が太陽分野において発表されました。私も未熟ながらに口頭発表をさせていただきました。



初めての学会発表は予想通り緊張しました。時間オーバーになることはあっても短くなることはないと考えていたのですが、緊張で早口になりスライド残り 1 枚で 2 分余るという状況に陥りました。そこで、まとめをかつてない程ゆっくりと丁寧に話したところ、時間ぴったりに終わることができました。しかしほっとしたのもつかの間、最初にいただいたコメントはネイティブの英語によるものでした。その場ではわからなかったので発表が終わってから個人的に聞きに言ったところ、流暢な日本語で改めてコメントをいただくことができ勉強になりました。それ以外にも発表のあいまいな部分、不足している部分などご指摘いただきこれからの研究活動に役立つ情報を多くいただきました。



多くの方の発表を聞くことで太陽部門の最先端の研究に触れることができ、また自分の今

後の研究にも生かせるような情報も得ることができました。

名古屋大学以外の太陽分野の研究者の方とお話する機会もあり、研究に対する姿勢など多くの刺激を受けました。そして、今後はそのような方々のお話を聞くインプットだけではなく、自分の研究をアウトプットできるようになりたいと感じました。

今回の学会では多くのことを学ぶことができ、とても有意義な学会とすることができました。